

◆ウイルス性胃腸炎

冬に流行するウイルス性胃腸炎は、別名「胃腸風邪」とも呼ばれ、腹痛を訴えて病院へ行ったら「お腹の風邪ですね」と言われたことはあるかと思いますが、ウイルス性胃腸炎の原因とされるウイルスには、ロタウイルス・ノロウイルス・アデノウイルス・アストロウイルスなどがあり、発生時期や症状にそれぞれ違いがあります。

小児のウイルス性胃腸炎の多くはロタウイルスによるものと言われ、大人の場合はノロウイルス感染者が多数となっており、ウイルス性胃腸炎はほぼこの二種類の発症だと言われています。（勿論、アデノウイルスなどの発症が全くないわけではありません）

●ウイルス性胃腸炎の症状

咳や鼻水といったいわゆる風邪症状がなく、下痢や嘔吐などがある場合は、胃腸風邪＝ウイルス性胃腸炎の可能性がとても高いとされています。潜伏期間は、ノロウイルスが 24～48 時間、ロタウイルスが 24～72 時間とされ、主な感染経路はロタウイルス・ノロウイルス共に人から人への経口感染です。

ロタウイルスの感染力は非常に強く、感染者の便の 1m l には 1 億個以上のウイルスが入っているとされ、わずか 10 個程度のロタウイルスがあれば感染してしまうと言われています。

便に限らず嘔吐物にもロタウイルスは含まれるので、それら进行处理する際にウイルスが口に入ると二次感染を起こします。

●ウイルス性胃腸炎の感染予防

手洗い・うがいは、ウイルス性胃腸炎の感染経路が経口感染であることからとても有効だと言えるでしょう。

特に、ウイルス性胃腸炎感染者の便や嘔吐物进行处理する時には、手袋やマスクを着用し、処理後は丁寧に手を洗うことが大切です。

また、床などに飛び散った嘔吐物を拭き取った際にアルコール消毒を行う方もいらっしゃいますが、実はノロウイルスやロタウイルスはアルコール消毒では死滅しません。処理が適切でないと、乾燥後にウイルスが空気中に漂い、空気感

染を起こすこともありますので注意が必要です。この場合は次亜塩素酸ナトリウムを使うのがよいでしょう。

また、嘔吐物などが衣服に付着した際も漂白剤を入れて洗濯をするのがよいとされています。

●ウイルス性胃腸炎にかかってしまったら

症状によって完治までの時間というのは異なりますが、一般的にはノロウイルスは3日程度、ロタウイルスでは3～7日程度とされています。

また治療といっても、ノロウイルス・ロタウイルスを始めとするウイルス性胃腸炎では抗ウイルス薬がないため、行うのは対処療法のみです。

下痢や嘔吐がありウイルス性胃腸炎かな？と思ったら、内科もしくは消化器科を受診するのがよいでしょう。

（豆知識 PRESS より参照：<http://sk-imedia.com/uirususeiicyoen-6034.html>）